

## 日向路を優雅に彩りました

10月29日から2日間、「神武さま」の愛称で親しまれている宮崎神武大祭が開催されました。晴れ渡る秋空のもと、15の神による「神々のパレード」やミスシャンシャン馬などが市街地を練り歩き、多くの人で賑わいました。29日の夜には、高千穂通りの神武さま広場で、神武東征をイメージしたプロジェクションマッピングの投影も行われました。



## リオ五輪で活躍した宮崎市出身の選手らを表彰

10月14日、リオデジャネイロ五輪で柔道男子チームを率いた井上康生監督を、母校である大宮中学校に迎え、「宮崎市特別栄誉賞」を贈りました。井上監督からは生徒たちに「失敗を恐れず、夢や目標を持つことが大事」と激励の言葉をいただきました。また、同日、女子ゴルフの大山志保選手と男子サッカーの興梠慎三選手に「宮崎市栄冠賞」を贈りました。

# Miyazaki Topics

宮崎市“みやとピ”旬の話題

## オータム・フラワー・ウィーク開催!

宮崎市の温暖な気候を生かし、秋にも花を楽しんでもらえるよう、中心市街地を花で彩るオータム・フラワー・ウィークが10月8日から16日まで開催されました。期間中は、趣向を凝らしたさまざまな花壇の展示やフラワーアレンジメント講座、高校生による手作りスイーツの販売などがあり、子どもから大人まで花と食を楽しみました。最終日には花の苗が無料で配布され、多くの人で賑わいました。



## ANA青島ファクトリーの開所で障がい者雇用を促進

10月6日、ANAウイングフェローズ・ヴィ王子(株)の宮崎事業所「ANA青島ファクトリー」が青島地域に完成し、開所式が行われました。工房では、県内で消費される焼酎などの飲料パックを再利用した手すき和紙の製品や県産杉を使った木工品などを製造・販売。これを機に障がい者の雇用拡大や、県産品のPR促進が期待されます。

今回の旅行先 昭和61年12月

助け合い  
尊重し合える社会に



今回発掘するのは、昭和61年12月の「お互いに助け合い尊重し合える社会を築こう」です。障がいのある人に対する理解と関心を深め、みんなが平等に暮らせる社会づくり。そのためにはどうしたらよいか改めて考えてみましょう。

昭和61年12月号が電子書籍で読める!



※QRコードの読み取りには、アプリ「QR・JANコード読み取りリーダー」を推奨しています。



## 私たちが一緒にできること

事例1



高いところの物や床に落ちた物を取る事が困難な場合は、代わりに取って渡してあげましょう。

事例2



視覚障がいのある人は、駅のホームから線路へ転落する恐れがあります。危ないときは声を掛けましょう。

事例3



補助犬を連れているときは、犬に声を掛けたり体に触るなど、補助犬の仕事邪魔ないようにしましょう。

事例4



障がいのある人などの駐車スペースは、車いす利用など歩行が困難な人以外は利用しないようにしましょう。

- 視覚障がいや肢体不自由のある人には、手動のドアなどの開閉をサポートしましょう。
- 電車やバスで席を必要としていたら譲る心遣いをしましょう。
- 聴覚障がいのある人には、筆談やジェスチャーなど、音声とは別の方法で伝える工夫をしましょう。

[問] 障がい福祉課  
☎21-1772 FAX 21-1776

まずは一言「何かお手伝いできることはありますか」と声掛けすることから始めてみましょう。相手を思いやり、互いに歩み寄っていく姿勢が何より大切です。



障がい福祉課  
主事 長友 理純

## 障害者差別解消法の啓発に取り組んでいます

8月に宮崎大学教育学部の学生と宮崎市自立支援協議会の共催で、障害者差別解消法についての理解啓発イベント「バリアクラMIYAZAKI バリア・クラッシュ!! 障壁を打ち破れ」が開催されました。市ではこの法律について、多くの人に知ってもらい、理解を深めてもらえるよう啓発活動に取り組んでいます。

